

# カウンセリング

カウンセリング事業報告書

## カウンセリング事業 報告書

平成 18 年 9 月より開始いたしました、本学の女性医学研究者を対象としたカウンセリング事業は最終年度を迎えました。

本事業の最終年度にあたり、これまでの経過を振り返ってみますと、18 年度は、まず相談を受ける下記のような体制を作ることに重点をおき、この事業の広報 PR につとめました。続く 19 年度は、実際にカウンセリングを利用される方に対して、面接やメールにて対応を行う中で、利用者の方がよりカウンセリングを利用しやすいシステムのあり方の検討を行いました。そして今年度は、引き続き、利用される方々に役立つカウンセリングを行えるように配慮してまいりました。

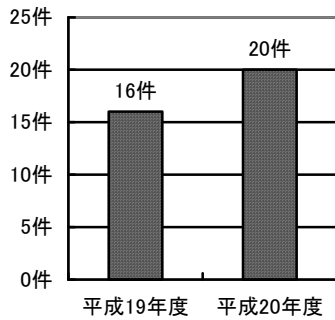
### <実施体制>

- ・利用方法 女性医学研究者支援室 WEB サイトを門戸とした予約制とし、面接もしくはメールにて、カウンセリングやピアサポートを行います。
- ・スタッフ 心理職（臨床心理士）と先輩医師で構成されるサポート委員が相談に対応します。
- ・相談内容は、仕事や子育ての悩み、家庭や職場の問題など、どのような内容にも応じ、女性医学研究者が気軽に安心して相談できる場となるようにします。また、相談者や相談内容のプライバシーは守られるように十分に配慮します。

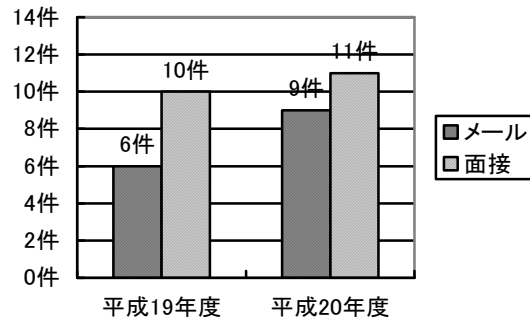
### <これまでに利用があったカウンセリングの件数、および相談の概要>

利用者の方のプライバシー保護を考慮し、差し支えのない範囲で示すと、以下のようになります。

平成 19 年度	相談件数
延べ	16 件
平成 20 年度	
延べ	20 件



【図1：相談件数】



【図2：相談方法】

相談件数は、図1のとおりで、平成19年度、20年度で平均18件となっており、相談方法は各年度とも、面接およびメール双方を利用した相談となりました。(図2)

#### 相談の概要

「職場内の人間関係に関すること」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場内に対応の難しい人がおり、コミュニケーションをはかることが難しく、仕事を進めていく上で業務に支障をきたしてしまう。</li> <li>・研究の指導を受ける際に、教授との関わり方が難しい。</li> <li>・医局内のメンバーとの付き合い方に悩んでいる。</li> <li>・上司と上手くいかない</li> </ul>
「職務に関すること」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の研究内容が自分にあっているのか</li> <li>・仕事や研究を遂行するにあたってのあせり</li> <li>・これからの自分の目指す仕事の方向性について</li> </ul>
「自分自身の性格について」

などの相談が寄せられました。

カウンセリングを利用された方の相談の内容からは、前述の相談内容に記載した通り、職場内の人間関係に関する相談や、仕事上の事柄に関する相談が多く寄せられました。

これは、女性医学研究者にとって、職務をスムーズに遂行する上で、職場内の人間関係が大きく影響しており、またそれらが主要な悩みでもある様子が窺えます。

これまで本事業においては、女性医学研究者が気軽に相談できる場を作るため、ニーズに応じて、面接やメールの他に、出張カウンセリングなども行えるようにするなど、多忙な女性医学研究者がより利用しやすい相談システムのあり方を検討してまいりました。現時点までの課題としては、カウンセリングを行う際には、相談者のプライバシー保護へのより一層の配慮を要するとともに、利用者増加に向けて、常に広く広報 PR していくことなどがあげられます。

今後、このカウンセリング事業に関しましては、近い将来、女子医大に在籍する心理職が中心となって所属部門を越えて連携しながら、女性医学研究者はもとより、女子医大の職員全体のメンタルヘルスをサポートしていく体制を目指しております。

引き続き、ご支援のほど、どうぞよろしくお願い致します。